



【先週 11月28日～12月4日の外食の出来事】

■いきなり！ステーキが「いきなり大幅値上げ」 200gを1133円→1408円

いきなり！ステーキは12月1日に公式サイト上で「販売価格改定についてのお詫びとお知らせ」と題した文書を公開。原材料である牛肉価格の高騰を受け、同日から主力のステーキメニューを値上げすると発表した。

■10月の外食売上高は前年比99.5%で前々年比は93.9% JF

9月末には全国的に「緊急事態宣言」、10月下旬には首都圏1都3県や大阪府の時短営業要請の解除があり、好調が続くFF洋風の牽引で全体売上は、ほぼ前年並みの99.5%、一昨年比では93.9%にまで回復した。

■ダイヤモンドダイニング、大衆寿司居酒屋「鮎酒肴杉玉」の展開を開始

ダイヤモンドダイニングは、FOOD&LIFE COMPANIEグループのFOOD&LIFE INNOVATIONSとフランチャイズ契約を締結し、その1号店として「鮎酒肴杉玉 木場」を12月1日にオープンする。

■ジョイフル、第1四半期(2021年7月～9月)の連結業績

2022年6月期 第1四半期の連結業績は売上高109億3600万円(前年同期比23.1%減)、営業損失11億1100万円(-)、経常利益12億5700万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億5000万円(-)であった。

■物語コーポレーション、第1四半期(2021年7月～9月)の連結業績

2022年6月期 第1四半期の連結業績は売上高157億3000万円(前年同期比5.3%減)、営業損失3200万円(-)、経常利益13億2300万円(同25.9%減)、四半期純利益8億1600万円(同35.8%減)であった。

■グルメ杵屋、DBJから40億円調達 劣後ローンで

外食チェーンのグルメ杵屋は11月30日、日本政策投資銀行から劣後ローンの借り入れで40億円を調達する。新型コロナウイルス禍で業績が悪化しており、資本金で財務基盤を強化する。

■ひらまつ、上半期(2021年4月～9月)の連結業績

2022年3月期 第2四半期の連結業績は売上高40億400万円(対前年同期比69.4%増)、営業損失13億4100万円(-)、経常損失14億800万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失17億3500万円(-)であった。

■ヴィア・ホールディングス、上半期(2021年4月～6月)の連結業績

2022年3月期 第2四半期の連結業績は売上高40億3600万円(対前年同期比30.1%減)、営業損失6億8700万円(-)、経常損失4億3500万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億4500万円(-)であった。

■ゼネラル・オイスター、上半期(2021年4月～9月)の連結業績

2022年3月期 第2四半期の連結業績を発表。売上高8億6700万円(前年同期比4.1%減)、営業損失3億1600万円(-)、経常損失3億1800万円(-)、四半期純利益1億900万円(-)であった。